困ったときには

Q. 自動演奏曲の再生ができなくなった
ケーブル配線の抜け、緩みをご確認下さい。

Q. 音飛び（抜け）がある
iQ Box の Learn モードで最低音量を確認して全ての音が発音することを確認してください。調整が難しい場合はピアノ本体の調整が必要な場合があります。詳しくは iQ Box のマニュアルをご覧になるか、ピアノディスクジャパンまでご連絡下さい。

Q. 思ったとおりの音量が出ない
iQ Box の Level モードで中間音量を再度設定して下さい。詳しくは iQ Box のマニュアルをご覧になるか、ピアノディスクジャパンまでご連絡下さい。

Q. その他問い合わせたいことがある
全てのお問い合わせは下記窓口にて受付をしております。ご不明点などございましたらお気軽にご連絡ください。

問い合わせ先

PianoDisc ピアノディスクジャパン株式会社
info@pianodisc.co.jp　www.pianodisc.co.jp
0120-92-7893

ピアノディスク機器配置図

PianoDisc 設置イメージ

ショッピングモール

ホテルロビー

結婚式場

リビング

2015年９月版

PianoDisc ショールーム

ピアノディスクジャパンのショールームではスクリーンの映像とシンクロして演奏される生ピアノと、スピーカーから流れるバックのボーカルやオーケストラ演奏のコラボレーションをお楽しみ頂けます。
詳しくはお電話かメールにてお問い合わせ下さい。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

東京メインセンター ショールーム

PianoDisc
ピアノディスクジャパン株式会社
info@pianodisc.co.jp　www.pianodisc.co.jp

■東京メインセンター／〒335-0005　埼玉県蕨市錦町1-13-20-A3
TEL：048-434-6767　FAX：048-434-6768

■名古屋センター／〒454-0934　愛知県名古屋市中川区西中島1-1212-A3
TEL：052-304-9846　FAX：052-304-9847

■大阪センター／〒565-0824　大阪府吹田市山田西2-7-7-A3
TEL：06-6170-7391　FAX：06-6170-7392

ピアノディスクシステムの楽しみ方

（後付け可能）

スクリーンの映像とシンクロした自動演奏を楽しむ

ピアノオートプレイヤーとスクリーン（別売）とPC（別売）をセットすることで、スクリーンの映像とシンクロした自動演奏曲を楽しむことができます。スクリーンの映像を見ながら、ピアノの音は生ピアノから。バックのボーカルやオーケストラ演奏はスピーカーから。自動演奏ピアノの楽しみ方が広がります。

操作方法

事前セッティング（ピアノディスクジャパンで行います）の後に、音楽データの入った付属のサンプル USB メモリを PC に差し込み、「映像付き楽曲」フォルダの中から好きな曲（ビデオデータ）を選択し、ダブルクリックして再生をします。

コントローラーではなく
PC を使用します

PC 画面例
（ファイルを選ぶだけで
再生できます）

応用例

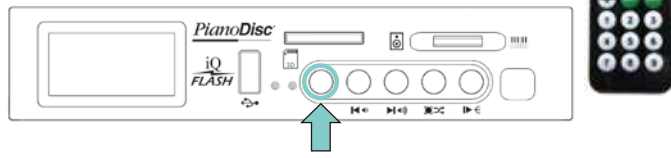
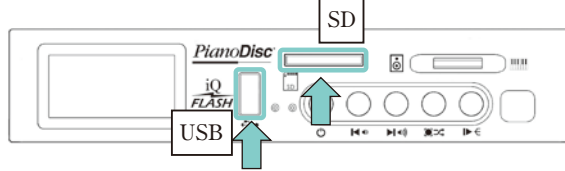
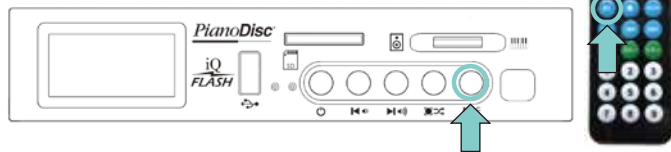
PC の代わりに、iPad や DVD プレイヤーでも、大きなスクリーンで大迫力の映像と自動演奏をお楽しみいただけます。接続の方法や詳しい設置方法、必要な機材などについては、ホームページを御覧ください。ピアノディスクジャパンでは、必要機材をまとめてご相談頂けます。

※スクリーンの映像と同期した自動演奏曲を再生するセッティングになっている時には、ピアノオートプレイヤーのコントローラーを使用することはできません。

自動演奏を楽しむ

ピアノオートプレイヤー（スピーカー付き）をセットすれば、買ったその日からピアノ自動演奏とバックコーラス・オーケストラ演奏を同時に楽しめます。

操作方法

1．ピアノ右下にあるコントローラーの
　電源を入れる

2．自動演奏曲データの入った USB メモリ、または SD
　カードを差し込む

3．再生ボタンを押す

応用例

iPhone や iPod､またウォークマンなどの MP3 プレイヤーからも、自動演奏曲再生することができます。詳しくは弊社 HP を御覧ください。

自動演奏曲を増やしたい場合、アメリカ・ピアノディスクの HP から自動演奏曲のデータを PC にダウンロード購入できます。詳しくは弊社 HP を御覧ください。

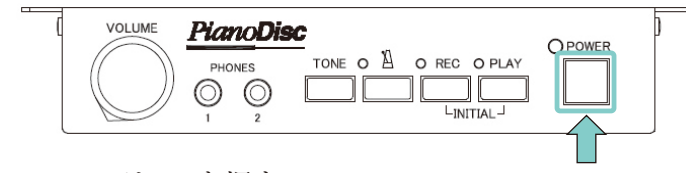
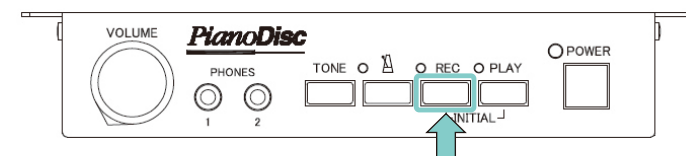
※コントローラーで自動演奏曲を再生するセッティングになっている時には、スクリーンの映像と同期した自動演奏曲を再生することはできません。

演奏を録音・再生する

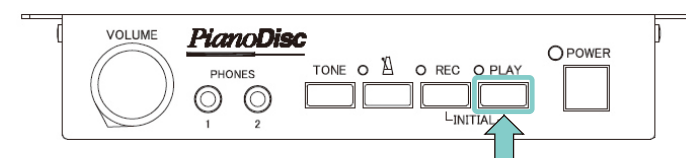
※プロレコード付きのみ

ピアノオートプレイヤーとレコードシステム（別売）をセットすることで、ボタンひとつで自分の演奏を簡単に記録、自動演奏で再生ができます。

操作方法

1．ピアノ左下にあるレコードシステムの電源を入れる

2．Rec ボタンを押す

3．演奏する

4．もう一度 Rec ボタンを押して録音を停止する

5．Play ボタンを押すと直前に録音したデータを自動
　演奏で再生する

応用例

PC と USB ケーブルで接続して録音を MIDI データとして残すことができます。詳しくは MIDI データを扱うソフトの取扱説明書と弊社 HP を御覧ください。

ワイヤレスで自動演奏曲を再生する

ピアノディスクシステムは高い拡張性を持っています。いくつかの機械を追加するだけで、簡単にワイヤレスで自動演奏曲を楽しむことができるようになります。
例えば、Apple TV（別売）を使えば、お持ちの iPhone、iPad から映像も音声もワイヤレスで飛ばすことができるようになります。詳しくは弊社 HP を御覧ください。

録音機能を活用する

If…プロのミュージシャンなら、レコードシステムと PC を USB で繋ぐことで自分の曲をピアノで作ることができるようになります。

If …ヴォーカリストなら、ピアニストに伴奏を録音してもらって自分ひとりでも歌の練習ができるようになります。

If …ヴァイオリニストなら、忙しくてデュオの合わせができない時でも、伴奏を録音してもらえば合わせ練習ができるようになります。

If…ピアノの先生なら、生徒の演奏を録音してその場でプレイバック、演奏を客観的に聴かせることができるようになります。

If …結婚式場にピアノディスクシステムがあれば、当日出席できなかった人から、ピアノの音は生ピアノで、バックバンドやボーカル付きでビデオレターを披露できるようになります。

ピアノディスクシステムの活用

自宅でピアノディスクを楽しむために購入したスクリーンとスピーカーは、映画を流せばそのまま映画館に早変わり。
またあなたがお店のオーナーなら、商品やお店の PR 動画を BGM と共に流すことでお客様へのアプローチも可能です。
ピアノは常に演奏されなくても、ピアノディスクのシステムは常に極上のエンターテイメントを提供できます。